

なつとともだちに なれたかな

なつを みつけたり、なつあそびを したりして、 かんじた ことや かんがえた ことは、 なにかな。 もっと やって みたい ことは、 なんだろう。

もっとなつが できるかなー。 あつらい なつあそび。 またあそびたい。

これまでにした ことを おもいだそう。

みずが かかったけど、 たのしかったよね。

いまの あなたの きもちを かこう。

あつひのあそび あそび びん びん びん

みずがつかなくて、きもちが 悪いけど、なつあそびに、 みんなでまたやりたいです。

たのしい まいにちにつなげよう

そつと ふくと おおきく なるよ。

みずの つぶに さわれるよ。

もっと やって みよう

とんぼも あまやどり しているのかな。

あめの ひも だいすき

いつもと ちがう においが する。

あめが、 あがつたね。

みて。 あじさいが きらきら ひかっている。

ばしゃばしゃ

注目
もっと やって みよう

単元の活動を補充したり差し替えたりして活用できるコラムです。雪や氷を使った遊び、哺乳類・鳥類の飼育、幼保小の交流会など、地域や学校の実態に応じて活動に取り入れることが可能です。

注目
たのしい まいにちにつなげよう

単元の最後には、「たのしい まいにちにつなげよう」を設けました。単元で学んだことを、日常生活で生かし、生活を豊かにするためのヒントを提示しています。

単元全体の振り返り
① 対話の中で振り返る

単元全体の振り返り
② 自分の言葉で表現する

活動を語るための言葉を耕す

自分の活動をさまざまな対話の中で振り返ることで、言語化につなげます。

私は、しゃぼん玉が いちばんおもしろかったな。

ゆいさんは、いろいろな道具で 試していたよね。 最後はたくさん しゃぼん玉を 飛ばしていたね。

こんなとき、こう使う

- 児童が振り返るときに、視点のヒントとして参考にすることで、自分や友達の成長に気付く。

活動をまとめ、自分の成長を実感する

対話したことをもとに、多様な表現で活動をまとめることで、自分の成長を実感します。

たくさん発見があったね。 ゆいさんは、しゃぼん玉名人だね。 秋には、どんな遊びができるかな。

こんなとき、こう使う

- 単元の振り返りとして、活動の履歴を自分の言葉でまとめるときの参考に。
- 教科書の例を参考に、教師がねらいにあった表現形式を選ぶ。